

はるだ さと

原田の郷

原田小学校区コミュニティ広報

第4号

平成27年2月13日発行
発行所：原田小学校区コミュニティ運営協議会

雪裏清香



この広報誌がお手元に届く2月には梅の花が咲き始め春の兆しを感じられることと思います。雪裏清香「まだ寒い中、梅の花だけが春を知らせる爽やかな香を漂わせているのではないのでしょうか。平成26年から開始しました原田小学校区コミュニティの取組みは皆様のご理解とご協力により、ほぼ計画通り実施することができ、期々の成果をあげることができました。あらためてお礼申し上げます。今年はこの取組みの2年目の年になります。新しい施策の2年目は試練の年でもあります。今後この取組みが順調に発展するためには、なお一層の努力が求められます。現在、原田小学校区コミュニティを運営する組織のあり方、平成27年度の事業について検討を重ねているところですが、一層の充実・発展を目指してまいりますと考えております。

さて、一部には原田小学校区コミュニティは「一体何を指しているのか?」のご意見もあるようですが、従来の行政区の範囲を超えた取組みを推進することにより、原田小学校区全体の相互交流の促進と活性化を図ることを目的としています。例えば、コミュニティのイベントを企画することにより、これまで顔も知らなかった方々が協力して取組むことで協働の輪が大きく広がり、さらなる交流へと発展することを期待しています。高齢化社会の到来を目前にして、安全で安心できる生活環境を整え、住みやすい、そして地域ぐるみで青少年の健全育成に取組む、大にやさしい「原田小学校区」にしなければならぬと考えています。新しい取組みには時間と努力が必要ですが、引き続き原田小学校区の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

原田小学校区コミュニティ運営協議会会長

安川 一馬

新しい年の初めにあたり

原田小学校区の皆様明けましておめでと〜うございます

スクールドレ ありがとう!

子ども達の登下校時の見守り活動に34名の有志の方々が1年を通して活動していただきました。おかげさまで事故なく安心して通学できました。今後ともよろしく願い申し上げます。

学校だより

原田小学校
・3月18日：卒業式
・3月24日：終了式

宇美南中学校
・2月19日・20日：1・2年生期末考査
・3月13日：卒業証書授与式
・3月24日：終了式

年月日()日

町民卓球大会で大活躍



12月7日に福祉センター体育館において町民卓球大会が開催されました。卓球は、若い人からお年寄りまで楽しめるスポーツとして人気があり、当日も若者男女の選手・応援者500有余名の方々が、寒風吹きすさぶ中会場入りしました。原田小学校区からは14(全体では56)チームが会場入りし熱戦を繰り広げ、1部Cパートで、原田下Cチームが準優勝、2部Aパートで炭焼三区D・同じくDパートで明治町が優勝致しました。選手並びに応援者の皆様ご苦労様でした。

かるた大会に参加しました



12月21日、東中学校体育館で、寒風吹く中開催されました。「かるた」は、日本古来の伝統ある遊びで、事前練習を重ね、伝統を学び参加しました。競技が始まると、会場はにぎやかな子ども達の声もいっぺんに消え、読み手の声に耳を澄まし真剣な眼差しで札を追いかけていました。当原田校区からは、小中学生を含め、8行政区から、20(全体では77)チームが参加し、敢闘しました。

掲示板

原田小学校区コミュニティのシンボルマークを募集します!

原田小学校区コミュニティの特色をデザインしたシンボルマークとし、形・色は自由です。応募要領：A4紙にシンボルマークのデザインと説明を記入し、各行政区の区長に3月15日(日)までに提出してください。採用した方には御礼として図書券を贈呈します。(参加賞はありません。)なお採用されたデザインの著作権は原田小学校区コミュニティ運営協議会に属するものとしますのでご了承ください。

コミュニティ活動・平成27年度計画の検討進む！

平成26年度の成果を踏まえ、平成27年度のコミュニティ運営の計画について検討されています。

巻頭の会長の挨拶にもありますが、この取組みの2年目を迎えしっかりと組織と運営ができるようになる必要があります。

- ① 総規約および組織：「原田小学校区コミュニティ運営協議会規約」(案)では、コミュニティ活動の目的、組織の構成、役員の任務、各部会の設置について定めることとされています。
- ② 委員の選出：各行政区から6名(基準)を推薦し、各部会等に入り事業を推進していただく。また、民生委員、小・中学校のCS委員、PTA役員、青少年輔導員、社会教育委員、老人会、保護司、消防団との連携について検討されています。
- ③ 各行政区の対応：コミュニティ活動の本格化にともない、各行政区の対応についても検討されています。コミュニティに参加する委員の選出、コミュニティ活動に必要な資金(拠出金)のありかた等です。拠出金については、平成27年度は、各行政区の自治会運営補助金の5%をコミュニティ運営費として拠出する案を中心に検討されています。
- ④ 事業と予算：26年度実施した5事業に加えて、「夏祭り」「文化祭」などが検討されています。また、予算では、町からの補助金(30万円)と各行政区からの拠出金(約55万円)を合わせて、約85万円程度の予算編成となる見込みです。
- ⑤ 役員の改選：現在はコミュニティの役員を区長が兼務しており、27年度まではこの態勢で運営するものの、将来は区長以外の有志によって運営されることが望ましいと考えています。

新入生の入学説明会がありました

2月2日は27年度の来入児を迎えて、入学説明会を行いました。来年度の入学は、94名を予定しています。元気な1年生が入学してくるのを一番楽しみにしているのは、今の1年生です。お兄ちゃん、お姉ちゃんとして、どんなことを教えてあげようか、何をして遊んであげようかと思いがパンパンに膨らんでいます。自分がしてもらったように、してあげる優しいお兄ちゃんお姉ちゃんが待っています。

もうひと学年楽しみにしているのが5年生です。来入児が入学して来る頃は、5年生は6年生になっています。最上級生として1年生を迎えるため、入学説明会の日からお世話を始めます。当日は、少し寒いせいもあり、緊張気味の来入児が、1年生の教室に集まりました。おうちの方がワールドルームで、入学に当たっての持ち物の準備や心身の準備について説明を聞いていただいている間、来入児のみんなは5年生と折り紙をしたり、お絵かきをしたりとだんだんリラックスしてきました。自分から進んでおしゃべりできる子もいて、教室も賑やかになってきました。ずいぶん教室の雰囲気慣れてきたところで、1年生の先生によるミニ授業が始まりました。塗り絵のシートに先生の指示を聞きながら色塗りをしていきます。1年生なるところやってお勉強するんだよ、ということをシミュレーションしました。顔つきがすでに1年生になっていたところがとても可愛らしく感じました。おうちの方にも参観していただき、4月にやってくる小学校生活を想像していただきました。

帰りに入学してすぐに使う道具を購入していただきました。例年PTAのパザーのために手作り品として出品してあるブックカバーや給食袋の販売も盛況でした。PTAの方々も入学を楽しみに待っておられます。

原田小学校 教頭 阿部美樹



新年恒例の出初式が挙行されました

1月11日(日)、宇美中学校において出初式が挙行されました。消防団の皆様は日頃はそれぞれの仕事をしていますが、災害が起きたら真っ先に救助活動してくれます。今年も無災害であることを祈ります。



ほんげんぎょう

原田上の「ほんげんぎょう」は、わかし4ヶ所の三ッ路で行っていたが、近年1ヶ所だけで伝統を守ってきた。平成2年に節おこしのため区の行事とした。「ほんげんぎょう」の起源ははっきりとしないが、江戸時代から始まったのではないかと思われる。正月7日の早朝に門脇やしめ縄を集めて青竹と一緒に燃やし、1年の無病息災を願い、また、雪初めの紙を燃やし高く上げ雪の上を願う。燃やした残り火で、家から持参したかみちちを焦げ目がつくらいに焼き、家に持ち帰り味噌をつけて七草汁と一緒に食べる。この日まででは味噌汁を作らない。

原田上区長 瓦田



写真は原田下のほんげんぎょう



もちつき

12月17日(水)に、5年生の親子レクリエーションとしてもちつきを行いました。子どもたちにとっては、5月から取り組んでいる総合的な学習の時間の「米作り」の終末段階としての活動になります。5月に、社会科の学習で日本の米作りについて学習したことをきっかけに、自分たちで米作りをしようと、総合の学習が始まりました。例年、原田下の小南さんの畑をお借りして米作りを行っています。今年は正門から道路を渡って歩道橋の階段近くの田んぼをお借りし、6月18日に田植えを行いました。小南さんはもちろん、CSボランティアの安河内さん、瓦田さんに苗のちぎり方や植え方を教えていただきました。ぬるぬるした土の感触を味わいながら、土に足を取られないようしっかり踏ん張って1歩1歩後ろに下がりました。



みんな頭の前から爪の先まで泥だらけで、学校に戻ってきたときは、人間蓮根の様でした。2学期になり、実ったお米をすずめに奪われないようかかしを作りました。かかしが見守ってくれたおかげで、10月には頭を垂れる稲穂に豊作の予感に子ども達の期待もぐんと高まりました。10月24日、満を持して稲刈りを行いました。またもや、CSボランティアの皆さんに鎌の使い方稲の握り方を教えて頂きながら、190kgを取れました。大豊作です。いよいよ、自分たちで育てたお米でおもちをつく日がやってきました。前の日から、米や道具を洗い、米を水につけ準備をしました。もちつきの日の朝は、雪がちらつく寒い日でしたが、そんな寒さなんか子どもたちには全く関係ありません。保護者の方65名、CSボランティアの方10名、PTA役員の方が5名ほどの参加の中、各クラス8日ほどつきました。つきたてのお餅は格別で、餅をほおぼるたくさんの笑顔が中庭に広がりました。お米がまだ余っているので、給食にも使わせてもらう予定です。全校で5年生が育てたお米を食べる日が楽しみです。



「いねを育てて」 筒井優里花
わたしは、今年初めていねを育てることができました。これは、田植えやいねかりの仕方を教えてくださっただけでなく、毎日水の管理をしてくださったたり、お米が鳥に食べられないようにかかしを立てることなどを教えてくださった小南さんのおかげです。田植えの時には小さかったなえが大きくなったときはとてもうれしかったです。



祝

原田小学校区からは、114人の新成人が誕生しました。

成人の日は、新成人達が両親や周りの大人達に保護されてきた子供時代を終え、自立し、大人の社会へ仲間入りすることを自覚するための儀式(成人式)を行う日です。成人を祝う風習は古来からありました。男子は、髪を結び冠または烏帽子をつけ、また、幼名から烏帽子名に改名する風習も盛んでした(元服・烏帽子[えぼし]付け)。女子の場合は「裳」という腰から下までとう衣服を身に付ける装着[もぎ]、髪を結び上げる髪上[かみあげ]、歯を黒く染める鉄染[かね](お歯黒)付けを成人の儀礼としました。

新成人代表にアンケート



- ・お名前：松田成佳
- ・行政区：四王寺坂一区
- ・職業：社会人
- ・一言：就職決まりますように
- ・原田校区の「こんなところが好き」を教えて：原田小学校の給食の「原田っ子ビビンバ」



- ・お名前：瀬口知之
- ・行政区：明治町
- ・職業：専門学校・学生
- ・一言：大人らしくなる
- ・原田校区の「こんなところが好き」を教えて：原田校区は住みやすい